

## 中国・四国ブロック内のエイズ発生動向の概要

## 1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

中国・四国ブロック内のHIV感染者・AIDS患者の報告数は、全国の動向と同様に年々増加している（図1, 図2）。

図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

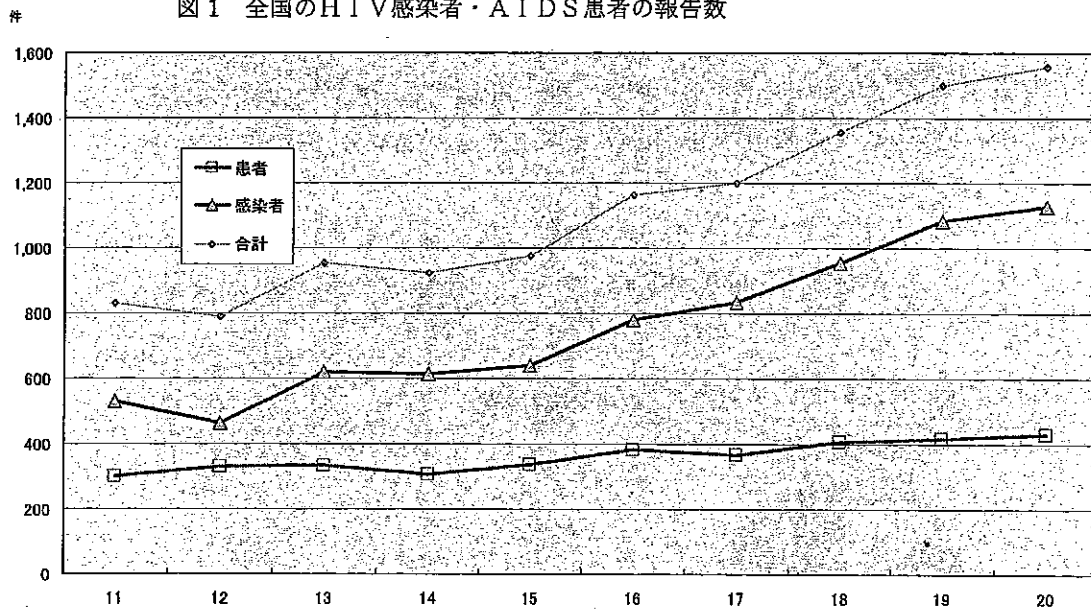
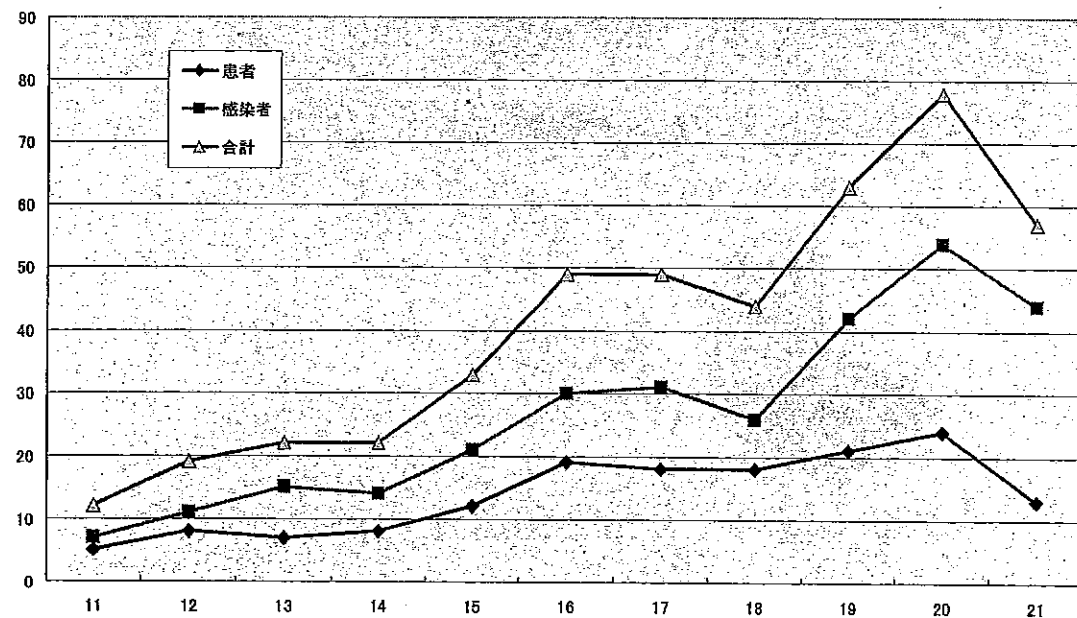


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数（H21は11月までの速報値）



## 2 HIV感染者・AIDS患者の感染経路別内訳(中国四国ブロック H11～H20 年報告例)

### (1) HIV感染者について

中国・四国ブロック内で平成 11 年から平成 20 年に報告された HIV 感染者の感染経路は、異性間の性的接触が 69 件 (27.5%)、同性間の性的接触が 148 件 (59.0%) と、性的接触によるものがあわせて 217 件 (86.5%) と大半を占めている (図 3)。

### (2) AIDS患者について

中国・四国ブロック内で平成 11 年から平成 20 年に報告された、AIDS 患者の感染経路は、異性間の性的接触が 34 件 (31.4%)、同性間の性的接触が 51 件 (36.4%) と性的接触によるものがあわせて 85 件 (60.7%) と多くを占めている (図 4)。

感染経路別に、発生時既に AIDS を発症している人の割合は、異性間が 33% (34 件/103 件)、同性間が 26% (51 件/199 件) と異性間において、高くなっている。

図 3 中国・四国ブロックの HIV 感染者の感染経路別内訳

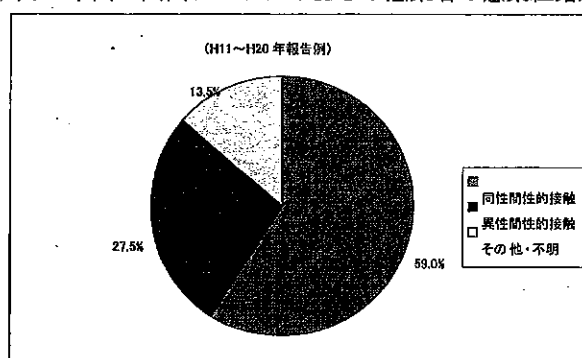
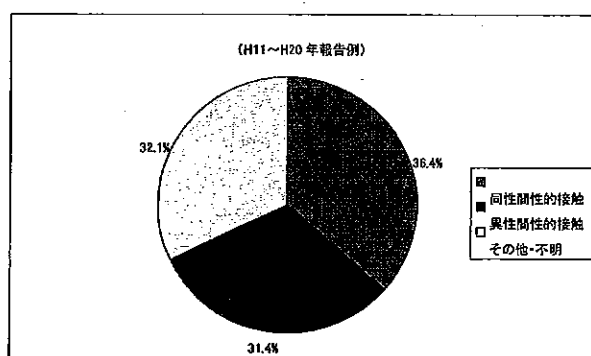


図 4 中国・四国ブロックの AIDS 患者の感染経路別内訳



### 3 都道府県別報告数について

平成20年の都道府県別の人口10万人あたりの報告数の上位10位には、岡山県(HIV感染者7位0.72, AIDS患者9位0.36)、香川県(HIV感染者8位0.70, AIDS患者7位0.40)が入るなど、中国・四国ブロックでも高い感染状況を示している。このため、診察における見逃し防止や行政の無料匿名検査による早期発見、行動変容を呼びかける普及啓発活動等の総合的なHIV/AIDS対策の更なる推進が必要とされている。

なお、中国・四国ブロック各県のHIV感染者・AIDS患者の人口10万対の累積報告件数は、表3のとおりである。

| 自治体    | 2008報告数 | 自治体    | 人口10万対* |
|--------|---------|--------|---------|
| 1 東京都  | 447     | 1 東京都  | 3.50    |
| 2 大阪府  | 187     | 2 大阪府  | 2.12    |
| 3 神奈川県 | 66      | 3 沖縄県  | 1.17    |
| 4 愛知県  | 62      | 4 愛知県  | 0.84    |
| 5 福岡県  | 29      | 5 神奈川県 | 0.74    |
| 6 兵庫県  | 28      | 6 京都府  | 0.72    |
| 7 埼玉県  | 27      | 7 岡山県  | 0.72    |
| 8 千葉県  | 25      | 8 香川県  | 0.7     |
| 9 静岡県  | 24      | 9 石川県  | 0.68    |
| 10 京都府 | 19      | 10 滋賀県 | 0.64    |

表1 HIV感染者の上位自治体

| 自治体    | 2008報告数 | 自治体    | 人口10万対* |
|--------|---------|--------|---------|
| 1 東京都  | 96      | 1 東京都  | 0.75    |
| 2 大阪府  | 51      | 2 愛知県  | 0.64    |
| 3 愛知県  | 47      | 3 大阪府  | 0.58    |
| 4 千葉県  | 31      | 4 沖縄県  | 0.51    |
| 5 神奈川県 | 26      | 5 千葉県  | 0.51    |
| 6 埼玉県  | 14      | 6 栃木県  | 0.5     |
| 7 兵庫県  | 13      | 7 香川県  | 0.4     |
| 8 福岡県  | 12      | 8 長野県  | 0.37    |
| 9 北海道  | 12      | 9 岡山県  | 0.36    |
| 10 栃木県 | 10      | 10 石川県 | 0.34    |

表2 AIDS患者の上位自治体

|           | HIV感染者 | AIDS患者 |
|-----------|--------|--------|
| 全国        | 8.259  | 3.834  |
| 中国・四国ブロック | 2.533  | 1.379  |
| 鳥取県       | 1.333  | 0.667  |
| 島根県       | 1.231  | 0.410  |
| 岡山県       | 2.509  | 1.741  |
| 広島県       | 3.411  | 1.288  |
| 山口県       | 2.171  | 0.611  |
| 徳島県       | 1.000  | 1.250  |
| 香川県       | 2.854  | 1.988  |
| 愛媛県       | 3.168  | 2.273  |
| 高知県       | 2.813  | 1.407  |

表3 中国・四国ブロックの人口10万対の累積報告件数

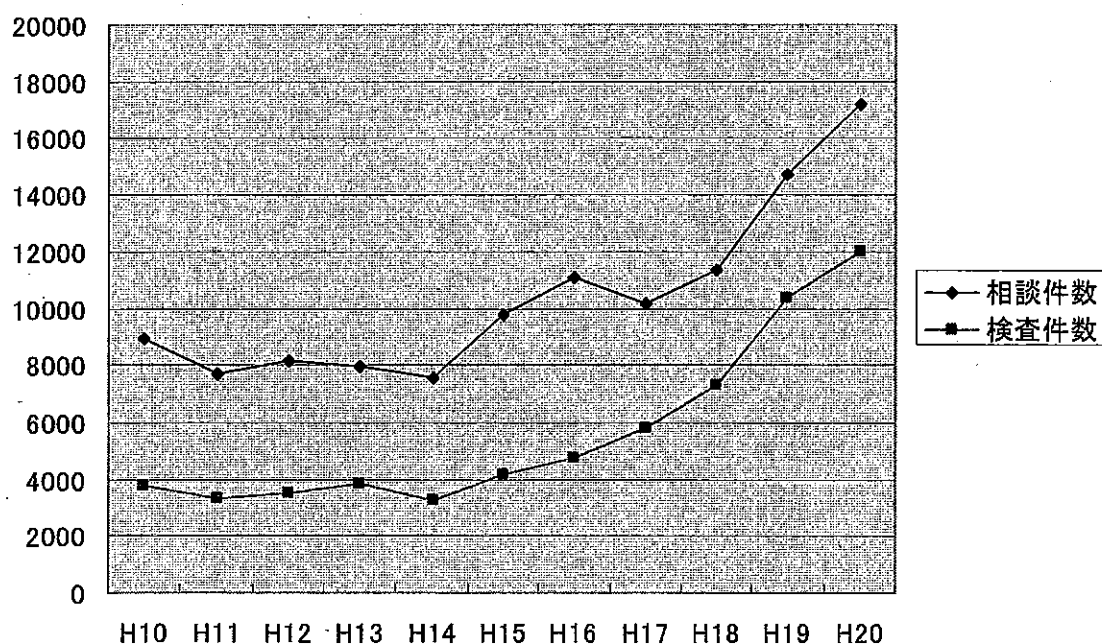
#### 4 無料匿名検査及び相談

中国・四国ブロック内の自治体における無料匿名 HIV 抗体検査件数、相談件数とも、年々増加している（図 5）。

しかし、平成 21 年は、ほとんどの自治体で検査・相談件数が前年同時期（第 1 から第 3 四半期で比較）よりも減少しており、中国・四国ブロック全体では、相談件数は、H20 年で 12,073 件であったのが、H21 年では、11,313 件（表 4）。H I V 抗体検査件数は、H20 年で 8,327 件であったのが、H21 年では、7,754 件（表 5）と減少している。

このため、保健所等における H I V 抗体検査・相談を引き続き推進、周知する等の取り組みが必要である。

図 5 中国・四国ブロックの H I V 抗体検査・相談件数の年次



|     | H20第1～3四半期* | H21第1～3四半期* |
|-----|-------------|-------------|
| 鳥取県 | 109         | 99          |
| 島根県 | 307         | 336         |
| 岡山県 | 1,777       | 1,380       |
| 広島県 | 4,980       | 5,288       |
| 山口県 | 538         | 569         |
| 徳島県 | 969         | 863         |
| 香川県 | 1,252       | 1,255       |
| 愛媛県 | 1,907       | 1,391       |
| 高知県 | 234         | 132         |
| 計   | 12,073      | 11,313      |

\*第1～第3四半期とは、1月から9月のこと

表 4 中国・四国ブロックの相談件数  
(H20 と H21 の比較)

|     | H20第1～3四半期* | H21第1～3四半期* |
|-----|-------------|-------------|
| 鳥取県 | 660         | 589         |
| 島根県 | 337         | 313         |
| 岡山県 | 890         | 804         |
| 広島県 | 2,413       | 2,245       |
| 山口県 | 877         | 951         |
| 徳島県 | 709         | 730         |
| 香川県 | 454         | 474         |
| 愛媛県 | 1,318       | 1,048       |
| 高知県 | 669         | 600         |
| 計   | 8,327       | 7,754       |

\*第1～第3四半期とは、1月から9月のこと

表 5 中国・四国ブロックの H I V 抗体検査件数  
(H20 と H21 の比較)